

南郷小防災キャンプ

7月20日(木)・21日(金)に、南郷小学校の5、6年生15名が、同校の校庭でキャンプを行いました。同取組は、防災について学び、いざという時に自分たちで命を守ることが出来る力を身につけることを目的として令和2年に始まり、今年で4回目となります。

役場情報防災課の職員から防災缶詰をテーマにした講義があった後、子どもたちは校庭でテントの設営や夕食のカレーを作るため、薪を使い火を起こし、米を炊く体験をしました。夕食後には、地域住民とともに学校の裏手にある避難場所まで夜間避難訓練を行い、星空観察をして帰校。夜の学校探検の後、設営したテントで一夜を明かしました。



火起こしをする子どもたち

とき、なかなか火がつかなくて大変だったけど、完成したカレーは美味しかったと話しました。

同校5年生の山本美羽里さんと武政優花さんは、「カレーを作る

市野々川で流しそうめん

7月29日(土)、市野々川地区で「小さな集落活性化事業」の一環として「流しそうめんを食べて月を見る会」が開催され、町内の親子40名が参加しました。交流人口増加を目的に市野々川釣りクラブが主催し、20名の地区住民が協力しました。

当日は朝から釣りクラブ員が竹を切って節を除くなど、流しそうめんのコース作りを行い、婦人部がそうめんや夏野菜カレーなどの食事を準備し、参加者を迎えました。

子どもも大人も、巨大な流しそうめんに驚いていました。竹を切って手作りした器とお箸で、涼やかなそうめんをみんなで楽しみました。最後には花火もあり、大満足の夏の1日となりました。



参加者の皆さん

来たが、ステキな場所です。最高の体験をさせてもらい感謝している。「ノコギリで自分で作ったで」と子どもも嬉しそうに楽しい夏休みの思い出ができた」と話しました。

参加者は、「市野々川に初めて

町長メッセージ

敬老の日



黒潮町長 松本 敏郎

敬老の日にあたり、皆さまのご長寿を心よりお祝い申し上げます。あわせまして、皆さまには長年にわたり黒潮町の発展にご尽力を賜りましたことに、深く感謝申し上げます。

本来であれば、直接お祝いを申し上げたかったところですが、新型コロナウイルス感染拡大防止などのため、このような形でお祝いの言葉をお贈りさせていただきます。

今年度、100歳以上となられる方は8月1日現在で19名おり、うち今年度、100歳を迎えられた方は7名でした。時代は大正、昭和、平成と変遷し、令和を迎えました。これらの時代を生きてこられた皆さま方には、その人生で得られた知識や経験、あるいは多くの人との絆という、何物にも代えがたい宝物をお持ちです。皆さまにはこれからも、地域を支えていただき、誰もが健康で安心して生きがいを持った生活を送っていただきたいと思っております。

さて、いまだ収束しきらない新型コロナウイルス感染症について、私たちは、4年目の対応を続けており、これまでの経験から変異するウイルスに対し、感染者の状況を確認しながら、様々な事業やイベントを何とか実施できるよう、創意工夫を継続しているところでございます。皆さまにおかれましても、日常生活にさまざまな制約が生じることもあろうかと存じますが、適宜感染対策をしたうえで、お元気にご活躍いただきたいと思っております。町といたしましても、引き続きワクチン接種をはじめ、感染拡大防止策に全力で取り組んでまいります。

皆さまには、改めましてご理解とご協力をお願い申し上げます。

結びになりますが、皆さま方のご健康とご多幸を心からお祈り申し上げます、私のお祝いの言葉とさせていただきます。